



愛宕山石切場跡での清掃作業の様子

令和5年度発掘調査成果公開！



埋蔵文化財センターでは、大規模な開発事業や公共工事が行われる際の緊急発掘調査や、史跡を多くの方々に公開するための内容確認を目的とした調査を行っています。

令和5年度は、中央新幹線や新山梨環状道路建設等に伴った甲府盆地の氾濫原にある遺跡や史跡甲府城跡の整備事業に伴う発掘調査を行いました。

発掘調査を通じて、河川の氾濫や地震に遭いながらも同じ土地を利用し続けた人々や、現在と変わらない土地利用の様子などを知ることができました。今回の埋文やまなしは、令和5年度に発掘された最新の調査成果をご紹介します。

史跡甲府城跡関連石切場詳細分布調査愛宕山石切場跡

所在地：甲府市愛宕町 調査期間：令和6年2月1日～3月22日 時代：近世～近代

愛宕山石切場跡は甲府城の石切場であり、近代にはその痕跡を活かした庭園として使用されていました。この場所をいつどのように使っていたのか、明らかにするために調査を行なっています。

令和3年度の発掘調査では、大量に集積した安山岩の破片を確認しました。これは、石切場の時に採石で出た破片をまとめたものなのか、庭園を造る時にまとめたものなのか、今回の調査で明らかにしていく予定です。



安山岩の破片の検出状況



出土した安山岩の破片

史跡甲府城跡石垣維持管理事業

甲府城の重要な特徴のひとつは、自然のままの石をほとんど加工せずに積む「野面積み」の石垣であり、現在も築城当時のものが良好に残っています。この石垣を後世に残すため、そして利用者の安全確保のために年間を通じて城内すべての石垣の目視点検と範囲を限定した詳細点検を行っています。

今年度は、天守台南面石垣の詳細点検を行いました。早急に補修が必要な箇所はありませんでしたが、石の割れやゆるみなどの確認および簡易的な修繕を行いました。



点検の様子

やまなし城・居館めぐりのススメ完結記念！

令和3年度から刊行してきたウォーキングマップ「やまなし城・居館めぐりのススメ」が今年度で完結しました。マップでは、山梨県内の城館跡や烽火台跡、中世の武士に関係のある寺社などをめぐるウォーキングルートを紹介しています。マップを持って遺跡を訪れてみませんか。

①北杜・韮崎・甲斐・甲府編

オススメルート

甲斐武田氏 発祥の地（韮崎市）

武田信義が拠点とした地域をめぐるルート。甲斐源氏ゆかりの武田八幡宮や願成寺、武田信義館の要害である白山城跡などを歩く。



白山城跡遠景
城跡には土塁や
竪堀が良く残る

②峡東・郡内編

オススメルート

郡内領主小山田氏の足跡をたどる（都留市）

小山田氏の墓所がある桂林寺や小山田氏により築かれたとされ、その後大規模な改修が行われた勝山城跡などをめぐるルート。



勝山城跡
発掘調査され、
竪堀などがみつ
かっている

③中巨摩郡・中央市・西八代郡・南アルプス市・南巨摩郡編

オススメルート

水との闘い、治水工事のエキスパートが住む地（昭和町・中央市）

釜無川の氾濫を防ぐために築かれたかすみ堤とともに、治水事業に関わった人物である三井右近丞の屋敷跡などをめぐるルート。



かすみ堤
不連続な堤防の
こと。一部は公
園になり、見学
できる

編集後記

今号の編集期間中に当センターや県内市町村教育委員会などが行った発掘調査成果を発表する遺跡調査発表会が開催されました。このほかにも、当センターや市町村では発掘調査やその研究の成果を紹介するシンポジウムや発表会、イベントなどを開催しています。ぜひチェックしてくださいね。（ゆ）

埋文やまなし 第70号

発行 山梨県埋蔵文化財センター

〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923

☎ 055-266-3016

印刷 株式会社峡南堂印刷所



HPはこちら